

コーポレート・ガバナンス 社外取締役メッセージ ▶ コンプライアンス・リスクマネジメント

コンプライアンスおよびリスクマネジメント

基本的な考え方

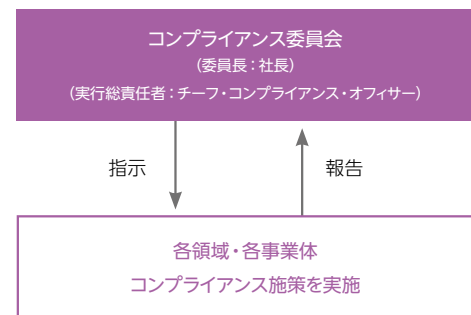
日野自動車は、各種CSR取り組みを推進するにあたり、ステークホルダーの皆さまから信頼・共感を得られるよう行動することが重要であると考えています。そのうえで『コンプライアンス』について、「法令遵守はもとより、倫理的な行動や、社会からの期待に沿った適切な行動をとること」と捉え、その徹底を重要な経営課題としています。

また『リスクマネジメント』については、「リスクの予防およびリスク発生時の被害・損害の最小化」の基本方針のもと、企業経営上の重要リスクを洗い出し、必要に応じた対策にも取り組んでいます。

この二つの考え方、方針に基づき、日野自動車は法令遵守、倫理性の維持・向上を徹底し、ステークホルダーの皆さまから「信頼され続ける企業」を目指します。

コンプライアンス推進体制

社長をトップに各役員、アドバイザー（外部弁護士）から構成される「コンプライアンス委員会」を設置して、コンプライアンスに関する方針・課題の審議を行い、各領域・各事業体でコンプライアンス施策を実施しています。



社員へのコンプライアンス啓発活動

日野自動車は、社員一人ひとりのコンプライアンス意識の醸成を図るべく、社員教育のカリキュラムにコンプライアンス研修を導入しています。この研修のツールとしては、各ステークホルダーの皆さまに対するCSRコミットメントである「CSRメッセージ」、社員一人ひとりがとるべき行動の判断基準を明確にした「日野行動指針」、日常業務において発生しうるさまざまなケースを想定し、具体的な対処方法なども解説した「コンプライアンスガイドブック」などがあり、すべての社員に冊子などで配布し、社内イントラネットでも常時閲覧可能にするなど、社内周知徹底を図っています。

今後も、コンプライアンス意識の高い人財を育成すべく、研修内容のさらなる充実に努めていきます。



「CSRメッセージ」はこちら



「日野行動指針」はこちら

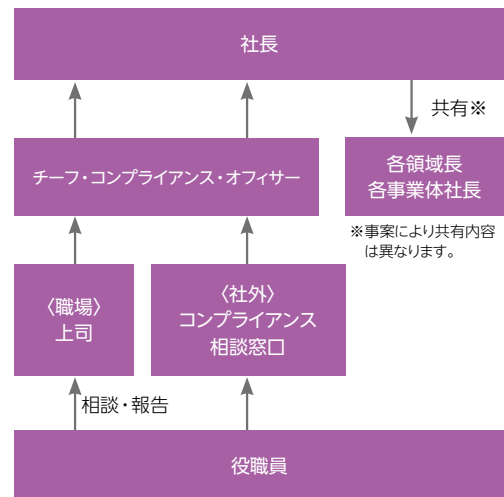
コーポレート・ガバナンス 社外取締役メッセージ ▶ コンプライアンス・リスクマネジメント

内部通報制度によるコンプライアンス問題の未然防止、早期解決

日野自動車および国内・海外グループ会社では、役職員のコンプライアンスに関する相談を受け付け、客観的な視点で早期解決を図るべく、内部通報制度を運用しています。この制度では、社外の弁護士事務所・専門会社にコンプライアンス相談窓口を設置し、職場に相談しにくい案件も随時相談を受け付けるなど、“相談しやすい”体制整備も心掛けています。

2019年度に寄せられた報告や相談は、グループ会社の相談も含め、185件ありましたが、そのすべてに対し、必要な対策をおこないました。今後もこの制度の適正運用を図ることで、コンプライアンス問題の未然防止、早期解決を図っていきます。

● 内部通報制度における相談・報告の流れ



リスクマネジメント体制

日野自動車は法令や経営環境の変化を踏まえて、定期的に重要リスクの洗い出しをおこなっています。洗い出したリスクについては、「リスクマネジメント委員会」にて管理をおこなっています(当該リスク発生防止対策、および発生した際の影響低減・再発防止対策の策定など)。

なお、重要リスク管理の事例については、以下をご参照ください。

◆ 自然災害及び感染症等への対応

日野自動車では、大地震等の自然災害、新型コロナウイルス等の感染症に対しては、人命を最優先に考えた訓練・対応等の活動をおこなっています。

自然災害に対しては、特に2011年に発生した東日本大震災以降は、より実践的な活動として、年2回の避難訓練をはじめ、消火訓練、応急救護訓練、対策本部訓練等の各種訓練に取り組み、災害対応能力のレベルアップを図っています。

新型コロナウイルス等の感染症に対しては、社内規定を整備し、対策本部により全社的な予防策・対応策等の諸活動をおこなっています。



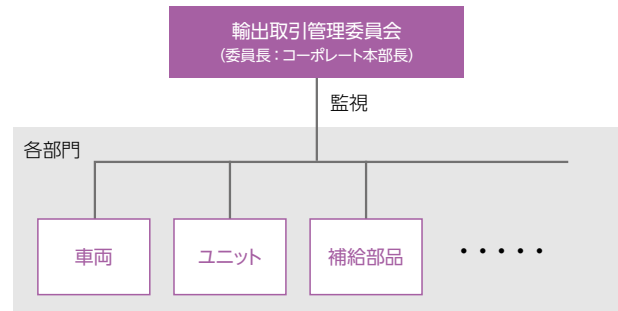
消火訓練の様子

コーポレート・ガバナンス 社外取締役メッセージ ▶ コンプライアンス・リスクマネジメント

◆輸出取引管理

日野自動車は国際平和・安全の維持を目指し、輸出した車両、ユニット等が武器に転用されるリスクを防ぐための輸出取引管理を徹底しています。

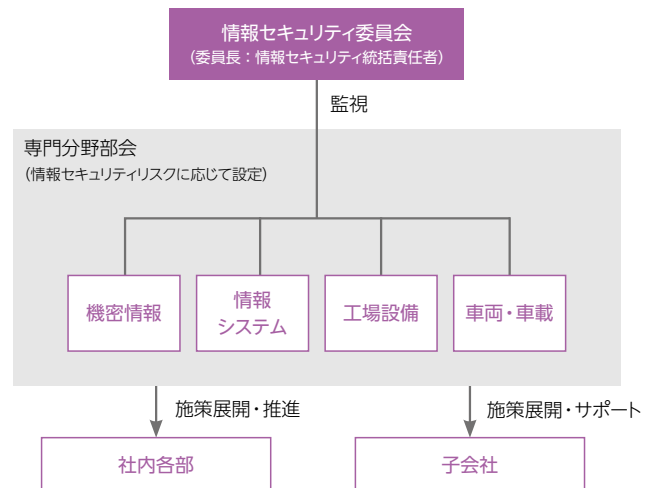
各部門で厳格な順法確認をおこない、それらの管理状況は「輸出取引管理委員会」で監視することで、全社で各種法令に則った輸出取引をおこなっています。



◆情報セキュリティ管理

日野自動車はサイバー攻撃などの脅威から、個人情報などのお客様の財産を守ることを社会的責務としてとらえ、情報セキュリティに関する取り組み強化を図っています。

また、情報セキュリティに関する考え方などをまとめた「情報セキュリティ基本方針」に基づき、情報セキュリティ統括責任者のもと、各分野の部会にてリスク管理をおこなっています。さらに、それぞれの部会のリスク管理状況は「情報セキュリティ委員会」で監視することで、全社の情報セキュリティに関する管理徹底に努めています。



2019年度には、内部からの情報漏洩防止や近年増加するサイバー攻撃に対応して情報セキュリティに関する規程類を見直し、体制整備・リスクの特定と対策・教育・監査・事故対応などの標準化を図るといった対策改善に取り組み、リスクの低減を進めています。

国内外グループ会社においても「情報セキュリティ基本方針」に沿った対策を推進しており、年1回各社対応状況を点検し、情報セキュリティの継続的な維持・向上に努めています。また、インシデント対応についてはグループ内連絡網を設け、事前防御と有事の迅速な対応体制を整えています。

 「情報セキュリティ基本方針」はこちら

今後の取り組み

日野自動車が今後も事業を通じてお客様や社会に貢献し続けるためには、「信頼され続ける企業」であることが必要です。

今後もコンプライアンスおよびリスクマネジメントに対する「チーム日野」一人ひとりの意識醸成に努め、法令遵守、倫理性の維持・向上を徹底していきます。